

平成21年度環境プログラム無償資金協力

「森林保全計画」 車両機材等引渡式

2013年5月23日



左：車両の鍵をバンダ大統領へ引き渡す寒川駐マラウイ日本国大使
右：引渡式にてスピーチを行う寒川駐マラウイ日本国大使

2013年5月23日、平成21年度対マラウイ環境プログラム無償資金協力案件「森林保全計画」の機材引渡式が行われました。引き渡された車両には、トラック、地ならし機、給水車、フォークリフト等が含まれ、金額にして約2億7,600万円に相当し、今回の供与は総額17億円の「森林保全計画」事業の一部を成すものです。供与された車両等は「森林保全計画」のもと、森林保護のために利用されます。

2010年5月、日本政府は森林保護を支援するためにマラウイ政府と交換公文に署名を行っています。2010年、日本政府はアフリカの9ヵ国全体に対して100億円の支援を約束し、その中でもマラウイに対しては最高額の17億円が供与されることとなっています。同資金は、気候変動に対処することを目的として当国森林局及びエネルギー局の能力開発支援のために使用されます。現在までに、同計画のもと、当国における気候変動の影響を低減させるために必要な基礎情報を網羅した森林資源地図の作成が行われました。今後、水力発電能力を向上させるために浚渫用機材供与の支援が行われる予定です。同計画により、マラウイの森林保護に対する能力を高めることが期待されています。

式典にはマラウイ政府からバンダ大統領が出席しました。